

みて！みて！きて！

ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」

天神3丁目11番31号

電話 23-5144

平成30年11月号

1	木	
2	金	古着回収日 10時～12時
3	土	休館日（文化の日）
4	日	休館日
5	月	布ぞうり作り 10時～15時 1回目
6	火	
7	水	
8	木	着物地～ショルダーバッグ 10時～15時（1回目）
9	金	
10	土	休館日
11	日	休館日（真田地区・古着回収日）
12	月	布ぞうり作り 10時～15時 2回目
13	火	
14	水	
15	木	着物地～ショルダーバッグ 10時～15時（2回目）
16	金	休館日
17	土	休館日
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	休館日（勤労感謝の日）
24	土	休館日
25	日	休館日
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

《意識なく生活の中に溢れるプラスチック類》

今年は命にかかわる程の猛暑が続きましたが、1993年7月、松本市「やまびこドーム」にて信州博覧会が開催されました。その夏は冷夏で海が敬遠され予想以上の来場者がありました。私も出展会社の一員として関わっていました。そこで毎日大量に出る「ごみ」もテーマになっていました。テレビ等でも報道していましたが、食事で使われる食器はもろこしの粉から作る生分解性プラスチック（土の中で分解をする）が使われ話題になりました。ここで出た生ごみも燃やすことなく、信州大・農学部の協力で、堆肥化されたことも大きく話題になりました。

私が定年を迎え、畑をやりだしましたところ、隣の畑で、土に還るマルチフィルムを使っていました。これは、収穫後フィルムを剥がす必要が無く、耕運機ですき込めるので作業が楽だとの事です。これは、時間がたつと二酸化炭素と水に分解されます。調べてみると育苗用のポット、これは大量に使われる公園など花の苗などポットから出さずにそのまま植えられるので、花の入れ替えにも簡単との事です。

最近プラスチックごみによる海洋汚染が深刻化する中、大手メーカーでは海洋中の微生物による分解可能な「生分解性プラスチック」の生産を拡大すると発表しました。欧州でのプラスチック削減の動きが強化されたことから、環境省もバイオプラスチック企業に補助金を出す事になりました。

農業に使われるプラスチック類は、年に一度有料で回収しています。家庭菜園等で使われる少量しか使わない場合は、少し割高でも分解される物を使ってもらえると良いと思います。我が家は、マルチの代わりに藁を敷くことにしました。押切で藁を刻みまいた種の上に藁を蒔き、ごみ減量に少しの満足をしています。



☆このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

◎古着の回収

11月2日（金）午前10時から正午

回収する物は、どなたかが着れる状態の衣類で、破れたり、汚れがあったりするものは回収できません。また、バッグ、靴、ぬいぐるみなどきれいで、あときちんと使える物も回収しています。

時間内に持参してください。

衣類を燃やさず、ごみ減量にご協力ください。

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

~~~~~ 今、私に出来る事！ ~~~~~

近年、これ程までにごみに対する情報を目にしたり、耳にする機会が増えた事は、皆が地球環境にそれだけ感心をもってきている表れだと思います。

まず、自分に出来る事は、主婦として何だろうと考えた時、

- 1・広告に惑わされ、余分な物は買わない。
- 2・作ったものは使い切る。
- 3・作って余ったものは工夫して違う一品として使い切る。

肉じゃが → コロッケへ

クリームシチュー→ドリアへ } 一例として

- 4・買った新しいものは、食品庫の奥に入れ手前の物から使う。

考えてみると、工夫したり、ひと手間かける事で減量、節約出来る事が沢山ありました。生産農家に囲まれているので、頂き物を自ら調整する事はまだまだ難しい事ですが、コミュニケーションを図って、必要な分だけ頂けるようにしていきたいな一と思っています。

まずは、一人ひとりが出来る事からと思い、顔を合わせる人には、「生ごみは水分が70~80%、水切りネットに入れるとひと絞りは、楽に出来るから毎日続けてネ！税金の無駄使い抑止にもなるよー。」と一声かけている自分がいます。

~~ 出来る事から始めよう！！~~

### 体験コーナー

★空き缶のリサイクル

★牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

### 生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ量法をアドバイスいたします。



### 講座＊（参加費各回 100 円）

申し込みは、11月1日（木）以降、電話でエコ・ハウスへ（受付は電話のみ）。

#### ★ 着物～ショルダーバッグ（定員 8 名）

**日 時** 11月8日（木）、15日（木）、 午前10時～午後3時

**持ち物** 着物（ほどいて）、裏用布、裁縫道具、型紙用紙、20cm・30cmファスナー、昼食

**諸経費** 100円

**材料費** 別途

#### ★ 布ぞうり作り（定員 10 名）

サラッとした感触が素足に心地よく、外反母趾にも効果あり。

古布を捨てずにカラフルな布ぞうりはいかがですか。

使い古したもめんのシーツ、ゆかた、洋服を裂いて、わらじのように編んで作ります。

**日 時** 11月5日（月）、12日（月） 午前10時～午後3時 （2回コース）

**持ち物** はさみ、ものさし(30cm位)、昼食

**材料費** 30円 材料は各自、手持ちの布を持参してください。

（ゆかた、シーツ、布団カバー等ほどいて、布を5~6cm幅に裂いて持ってきてください。）

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」（上田クリーンセンター内） 上田市天神 3-11-31 Tel.23-5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ecohouse/>